

2002年2月15日

各位

三井化学株式会社

## ポリプロピレン製造設備のスクラップ&ビルドについて

当社（社長：中西宏幸）は、ポリプロピレン（PP）の大規模スクラップ&ビルドを行うことを決定致しました。

現在、PPの製造・販売を行う100%子会社（株）グランドポリマー（社長：榊由之。2002年4月1日付けで三井化学に吸収合併の予定）として、市原工場、堺工場、高石工場のほかに、宇部ポリプロ（有）（グランドポリマー81%出資）からの出資見合いの引き取り及び浮島ポリプロ（株）からの購入を加え、合計703千トン/年のPP供給能力を有しています。

当社は、PP汎用品分野でのコスト競争力強化のため、コスト競争力の劣るプラントを停止し、2004年の関税引き下げを睨んで輸入品に対抗し得るコスト競争力のある最新鋭の大型設備を建設致します。

具体的には、高石工場の一部及び堺工場のPPプラントを停止するとともに、浮島ポリプロからの購入を停止し（合計261千/トンを停止。詳細別紙ご参照）当社大阪工場内に、2003年9月を目途に新たに300千トン/年のPPプラントを建設致します。なお、プラントの停止は、新プラントの完成後、2003年末までに順次行う予定です。

今回行う新プラント建設の詳細は次のとおりです。

### [ 新プラントの建設 ]

- |           |  |
|-----------|--|
| 1. 生産能力   | 300千トン/年                                   |
| 2. プロセス   | ハイポール 法（三井化学技術）                            |
| 3. 立地場所   | 三井化学 大阪工場内                                 |
| 4. 総投資額   | 操業準備費等を含め約120億円                            |
| 5. スケジュール | 着工：2002年9月<br>完工：2003年9月<br>営業運転開始：2004年1月 |

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社

IR・広報室長 須田桂二

03 - 3592 - 4060

## スクラップ&amp;ビルドによる生産体制の再構築

本S &amp; B計画は網かけ部分

工場他	プラント	稼動年	能力 (千トン/年)		プラント	能力 (千トン/年)
市原	第1系列	1969	94		第1系列	94
	第2系列	1984	127		第2系列	127
高石 (大阪)	第1系列	1970	108		第2系列	92
	第2系列	1983	92		第3系列	51
	第3系列	1985	51		新プラント	300
堺	第1系列	1969	50			
	第2系列	1971	70			
宇部PP		1993	78 (出資見合い の引き取り)		78 (出資見合い の引き取り)	
浮島PP	(購入)	1989	33			
合計			703			742